



平成 21年8月22日(土)～24日(月)、広島・長崎子ども会親善交歓会の本研修が行われました。広島から42名、長崎から66名が参加し、市内探索や平和学習、キャンプファイヤーなどを行いました。2泊3日の短い時間でしたが、子どもたちの笑顔いっぱいの3日間でした。

「6 + 9 = 15」

上長崎小学校5年 毎熊 洸陽

2泊3日の広島・長崎子ども会親善交歓会に参加して、ぼくは原ばくについて沢山の事を学ぶことができました。「6 + 9 = 15」これは、6は広島の日、9は長崎の日、それをたして15は、終戦記念日です。広島と長崎に落とされた原ばくの市に生まれたぼくたちが、こうして友達になる事は、平和への第一歩だと思いました。たくさんの友達ができ、たくさんのたのしい思い出になりました。とてもたのしい3日間でした。

「広島・長崎子ども会親善交歓会」での思い出

三原小学校6年 片岡菜々子

私が、「広島・長崎子ども会親善交歓会」に行くと心に残ったことは、いろんなレクをしたことと、原爆のことをガイドさんにおしえてもらったことです。レクは、キャンプファイヤーをやったのが一番楽しかったです。平和のことを聞いた時、原爆資料館で1枚の写真のことをガイドさんがおしえてくれました。その写真は、男の子が妹か弟をおんぶして、死体を焼く場所にずっと立っている所でした。男の子はくちびるから血が出るほど強く歯でかみしめていました。

その理由をガイドさんはおしえず、自分で考えてみてくださいと言っていました。私は、妹か弟が死んでしまって、焼く場所に持って行くのはとても悲しいことだから、泣かないようかみしめていたんだと思いました。戦争は人が死んだり、きずついたりするだけで、何の意味もないと思いました。平和と命の大切さもよく分かりました。世界では、まだ戦争が行われている国があります。世界が平和になるように日本から、原爆が落ちた、長崎・広島から平和を広げていけたらいいなあと思いました。広島の友達もいっぱいできて、よかったです。

リーダー1年生

長崎工業高等学校1年 山田晋太郎

今回の活動で5回目の参加になります。でも、今年は、班付リーダーとしては初めての参加になるので、少し緊張しました。

いざ本番となると、子どもたちに助けられることも多く、自分もまだまだ成長しないといけないと思うところがたくさんありました。

でも、子どもたちが笑っているところや楽しそうにしているところを見ると、自分も元気になることができ、本当にやってよかったなと思いました。

今年の広島・長崎では、自分への課題や見直さないといけないところを見つけることができ、よかったなと思いました。

最後に、これまでこんな班付についてきてくれた3班のみんな、団員のみんなありがとうございました。みんなと活動ができてほんと楽しかったです。いやな思いもさせたと思うけど、また来年も参加してくれたらうれしいです。来年も来てくれるのをまっています。

それじゃあ、また会いましょう。



心を込めて花輪と折り鶴を慰霊碑にそなえました



7月4日(土)の午前10時から桜町小学校体育館において、長崎市青少年育成連絡協議会のスポーツ大会が行われました。梅雨時でしたが、天気も良く湿度も低めで絶好のスポーツ日よりでした。競技の『キンボール』は直径120cmの大きなボールを使って「ブラック」「グレー」「ピンク」の3チーム(1チーム4人)でゲームをします。サーブをする時は3人でボールを支え1人がサーブしますが、その際にサーバーは他のチームカラーを指定してボールを打ちます。そして必ず「オムニキン」という言葉を、指定するチームカラーの前に言わなくてはなりません。「オムニキン、ピンク」と言ってサーブをしたら、ピンクチームは4人でボールを受け止めに行きます。最初は、サーブの前の言葉を忘れて、間違えたり、とミスが出ていましたが、すぐに慣れてプレーに夢中になりました。『キンボール』は簡単なルールで誰でも気軽にプレーができ、協調性を必要とする楽しい競技でした。

👑 優勝 南公民館区 サファイヤチーム 👑

うなぎに乾杯 (その1)

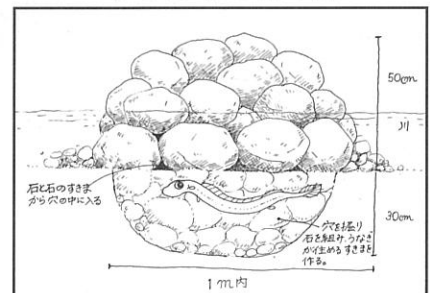
“茂木育成協”は、さる8月22日(土)午後2時から、茂木小前を流れる若菜川に大・小15個の『うなぎ塚』を作った。開催日時は、うなぎの習性と潮位表と土日が合致した(8月~10月)に決定される。

この行事は、『昔はうなぎがよ~けい獲れよったね~』のひと言から始まったもので、5回目となる今回は、50名の子どもと25名の大人が参加した(小中の校長先生、先生方、茂木支所長も毎年参加頂いている)。

当日は、潮がまだ満ちているのに、待ちきれない子どもたちがたくさん集まってきた。中には、きょうは“うなぎを獲るぞ!”と思えるほどの道具を持ってきた子たちもいてなかなか楽しい。『塚』づくりは簡単だが、手にまめができたり、滑って尻もちをついたり悪戦苦闘。子どもたちは、飽きると小魚やカニ、エビなどを獲ったり追いかけたり。大人は、うなぎの捕獲量が少ないと酒の“肴”の蒲焼が減るので、至って真剣。数日後に感じる足腰の痛みに、日頃の運動不足と年齢を毎年痛感している。

計画では、10月に『うなぎ塚』を開ける予定。大雨で流されないことをただただ祈願。なお、塚を開けた結果も本紙(次号)で紹介して頂けるとのこと。大漁?乞うご期待!

うなぎ塚の作り方



うなぎの豊漁を願って

茂木中学校区青少年育成協議会 前会長

山口 政嘉

編集後記

我を振り返って

「子どもより大人に足りぬ羞恥心」今年のサラリーマン川柳第19位の作品です。

「自らを恥ずかしいと感じる心。」と辞書には書いてあります。ではなぜ大人になると少なくなってくるのでしょうか?大人になってくると社会的な業績、成果といったものにとりわけ関係するようになってくるそうなんです、また慣れ、高齢化、認知症の進行等に関係して薄れてくることもあるそうなんです。

モラルに違反している行為を、常態化することで恥ずかしいとも思わずに処理したり、社会のルールに違反する行為などは、羞恥心の希薄化を発生させるそうです。

自分自身の足りなさをしっかり捉えて反省し、生きていきたいものです。

子どもゆめフェスティバル 2009

今年も、12月5日(土曜日) 12:00~15:30に「子どもゆめフェスティバル」が市民会館3階 市民体育館を会場に開催されます。

子どもたちによる手作りのゲームや遊びのコーナーで、無料で楽しい時間を多くの子どもに楽しんでもらうためのフェスティバルです。保護者の来場大歓迎です。

去年来た人、今年も来てね!! 来たことがない人、今年はずい来てね!!